

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数はかなり増えている。
	◎	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・少人数の飲み会や大人数の宴会が、バランス良く入っている。当日予約のお断り等、動きが良い日も多々ある。
	◎	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外旅行への問合せが、非常に多くなっている。
	◎	設計事務所（所長）	来客数の動き	・これまで滞っていた問合せも入り、建築しようという動きが感じられる。
	○	百貨店（店長）	来客数の動き	・3月から6月の来客数が99%にとどまっている。新型コロナウイルス感染症の5類移行後には、来客数が大幅に改善されると想定していたが、いまだその水準に至っていない。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前の2018年と比べると、売上は100%超にはなっていないものの、回復傾向にある。客の動向も以前の状態に戻りつつある。
	○	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・7月に入り、売上が徐々に上向いている。
	○	スーパー（商品部担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、消費者の行動変化が大きく、祭りやイベント等の地域行事が再開され、注文等が増えている。いまだ値上げによる1品単価への影響が大きい。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・このところ、特に、月末に近づくほど猛暑日が続いて、冷たい飲料、アイスクリーム等が大きく伸長し、購入客もかなり多い。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で、来客数は99.5%、客単価は103.6%、売上が103.9%で推移している。来客数が前年並みで、客単価が上がったため、売上も104%まで回復している。特に良い印象として、今月は来客数の回復傾向を感じている。
	○	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・前年までは、全国の祭りが中止になっていた。今年はほとんどの地区で祭りが再開され、例年にないほど祭り関連の客が増えてきている。そのお陰である。
	○	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・季節商材の動きが前年比105%と良いものの、映像関連やパソコン関連は前年比95%と若干悪いが、全体としてはやや良くなっている。
	○	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・当社だけの話かもしれないが、来客数が極端に増えている。新車、中古車の販売関係の商談や車検、定期点検、板金塗装での来社等、とにかく数段、来客数が多くなり、本当に良くなっていると実感している。
	○	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・特に目立った動きはないものの、販売の方では、今までより問合せがやや増えている感じがする。
	○	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・7月に入り、季節商材の動きが活発になっている。暑さのせいで日中の来客数は伸び悩んでいるものの、夏物商材の動きで売上は相殺され、6月と比較してやや上向いている。
	○	一般レストラン 〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・梅雨が明け、夕立も少なくなっている。猛暑が続いていることに比例して、来客が増え、県外客も増えている。
	○	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・マスク着用率をみると、1年前の来館客は100%だったが、現状は70%程度である。外食業界への客の戻りと連動している。
○	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・インバウンドの回復やビジネス関係の外国人客の予約が増えてきているため、やや良くなっている。	
○	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・私鉄の新型特急車両導入があり、メディアでも各方面に大きく紹介されたこともあり、夏休み前の連休も、これまでにない道路渋滞が発生した。宿泊、観光施設への来訪客も増えている。	
○	タクシー運転手	お客様の様子	・今月中旬以降、週末はタクシー乗り場に行列ができるようになった。タクシーの台数が少ないせいもあると思うが、行列のできる時間は1時間ほどで今までにない光景である。乗車は、2000円前後が多く、10分程度の距離である。売上も月に10万円前後増えている。ただし、相変わらず、深夜は客が少ない。	

○	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きは良くなってきたので、前年同月と比べて18%の増収である。
○	通信会社（経営者）	販売量の動き	・一般はまだだが、行政や外郭団体等からの見積りや受注が増えてきている。
○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・物価は高止まりしているものの、コロナ明けの影響で、消費意欲が高まっている。
○	通信会社（局長）	お客様の様子	・来客数が伸びており、店内の人の動きが活発になっている。
○	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・個人客が少しずつ回復傾向にあり、夏季繁忙期に向けて良くなっている。
○	美容室（経営者）	来客数の動き	・猛暑で外出を控える人が増えており、例年の夏のような来客数まで伸びてこない。
○	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・夏休み期間に入り、販売量に変化が出てきている。子供と一緒に過ごす時間が影響しているかは不明だが、急に増加している。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・連日の猛暑のなか、ニュース等でも「不要不急の外出は控えるように」といわれている。客は暑さに負けずに、何とか買物に出ているが、冷房設備のあるスーパーでも人の動きは少ない。また、各種値上がりも影響している。
□	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・売上は前月と変わらないものの、新型コロナウイルス感染症発生前の売上と比較すると、前月よりも達成度が悪くなっている。理由としては、修学旅行等が6月と比べて少なくなっていること、酷暑による出控え等が考えられる。外国人旅行客の出足は堅調だが、国内旅行客が少なく、また、財布のひもも緩まない状況である。
□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・マスク着用者は依然として多いものの、人流は活発になっている。化粧品やアパレル等の外出関連商材は、引き続き堅調に推移しているものの、大幅なプラスには至っていない。
□	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・値上げや生活防衛意識の高まりのせいか、食品の動きが芳しくない。特に、生鮮品の売上が厳しい。一方で、ファッション、雑貨の動きは良くなっている。化粧品については、メイクアイテムを中心として、引き続き好調に推移している。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・この数か月、同じような状況が続いている。新車販売が落ち込み、中古車販売が少し前へ進んできている。車検等の整備売上は相変わらず安定しているため、減収増益は変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注は堅調に推移しているものの、受注残が増えていない。
□	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・コロナ明けで観光や外出需要は若干上がるかもしれないが、値上げのトレンドは継続しているため、相対的には変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・値上がり続きのせいか、客単価は良くない。
□	観光型ホテル（経営者）	お客様の様子	・一部報道では、宿泊業界の持ち直しが取り上げられているが、微増はしているものの、他地域の知り合いにヒアリングしてみたところ、多くの地域の同業者から、予想していた状態より悪いと聞いている。前年比で、売上や利益が減少している観光関連事業者は多い。実際に当地でも客の流れは出てきているが、地域内の勝ち負けが大きく、全体的な回復には程遠い。
□	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・全国旅行支援の終了に伴い、確実に勢いは落ちているが、団体やインバウンドが伸びているので、好調を維持できている。
□	通信会社（社員）	単価の動き	・全体的に販売単価の高騰を感じている。身近なところでは、光熱費やエネルギー関連は、現在の補助金もなくなるので、今後は生活への負担増を一層感じる。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・いまだに不動産の引き合いが少なく、逆に飲食店関係の撤退が続いている。特に、貸店舗等で空室が多少目立ってきている。新規の問合せは大変少ない。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・コロナ禍による巣籠り需要も終わり、大型リフォームの問合せが減っている。一方で、節電に対する関心が高まっており、エアコン等の設備機器の入替えや内窓設置等の小型案件の問合せが多い。

	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・生活必需品や公共料金の値上げが相次いでいるなか、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されてはきたものの、この夏の異常な暑さもあって、街中の人出も店への来客数も激減している。
	▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・猛暑の影響で、極端に来客数が少なく、売上も最悪である。
	▲	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・とにかく人が出てこない。毎朝テレビ等の天気予報でも、「不要な外出は避けるように」という話をしている。当店の顧客は高齢者がかなり多いため、この酷暑のなかでは、身の危険を感じて外出を控えるようになってしまっている。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・前月からの伸びは125%となっている。ただし、前年比では97%と大きな伸びはない。主力商材ではエアコンが前年比108%、冷蔵庫84%、洗濯機81%、パソコン本体59%、テレビ90%と全体的に振るわず着地している。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・全体的な物価高の影響か、買い控えが増えているような気がする。
	▲	その他専門店 [靴小売業]（経営者）	来客数の動き	・当店の中心客層が60代以上なので、猛暑のために出足が急激に落ちてしまっている。毎日、天気予報で屋外への外出の注意喚起が多く、買物も必要最低限に絞っている。
	▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・連日の異常な猛暑続きで、来客数が減っている。繁閑日の差が大きい。
	▲	その他飲食 [給食・レストラン]（総務）	単価の動き	・4月の新年度から、給食事業では多くのクライアントで取引条件、単価の見直しに応じてもらったが、収支の改善には至っていない。4月以降も食材費や水道光熱費等の上昇が続いているため、取引条件の見直しが追いついていない状況である。
	▲	通信会社（経営者）	販売量の動き	・物価高騰による買い控えが目立つようになっている。
	▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販売数は4月と比べ約2割ダウンしている。販売数をけん引する廉価商材が枯渇している。
	▲	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・原材料の価格高騰や維持費等、営業経費の全てが値上がりしている。
	▲	ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・来場者数が減少している。雨や猛暑といった天候による影響もあるが、旅行等、他のレジャーに客が流れているとしたら、今後も影響が出てくるのではないかと。
	▲	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	それ以外	・人手不足が深刻化している。職務範囲を狭めて対応せざるを得ない。したがって、売上は下降する。物価高による影響もじかに受けているが、商材価格への転嫁は難しい。
	×	一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・時期的にエアコン類の売上は好調だが、他の物は、客の財布のひもが固く、壊れない限りは買わない。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・工場の稼働停止や商材納期の不安定な状態が続いている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・高水準の受注が続いているものの、人手不足が原因で協力工場の生産能力が上がり、網渡りの納入が続いている。
	○	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・10社ほど取引先があるが、どちらともいえない会社、やや良くなっている会社があり、全体的には若干良くなっている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・いまだに部品調達の不安はあるものの、生産は安定している。
	○	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・収益改善のための値上げを了承してくれた取引先が、予定より多い。
	○	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ホテルのレストランで、50名以上の宴会が新型コロナウイルス感染症発生前くらいに戻ってきている。しかも、警察や学校等の公的機関の宴会が増えている。駅周辺の居酒屋は、予約なしでは入れない日もあり、夜の街にも活気が出てきている。
	○	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・納入案件が多く、収益は改善されつつある。

	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・依然として、原材料価格は値上がりしており、どこまで続くのか心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子から、9月くらいまでは仕事がないといわれているところもある。また、別の取引先からは検討中といわれているため、先のことは分からず、とても心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は減少傾向である。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先によって、上向きや下向きの差が大き過ぎるため、プラスマイナスゼロという判断で変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今までだと9～12月くらいまでは、かなり忙しい状況が続いていたと思うが、今年はなぜか異変が起きているような気がする。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状は変動なく推移している。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・暑い夏になったことや電気代高騰等もあり、省エネ家電、扇風機、サーキュレーター、移動式エアコン等の物量が増えている。また、ハンドファン、クールネックリング等の清涼グッズの物量も増えているが、全体的な物量は前年並みである。九州方面の大雨による災害で、九州方面の車両代が高騰しており、燃料価格の高騰もあるために利益が薄くなっている。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・世の中が安定している気がする。当事務所にとっては、以前と比べれば、低位安定で余り変化がない。かといって困ってしまうほどではない。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・回復している業種もあるものの、特に、日用品に対して生活防衛意識が強くなっている。
	▲	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度初めから、工事量が足りない状況が続いている。
	▲	経営コンサルタント	それ以外	・コロナ禍の落ち着きに従い、企業の生産活動や個人消費が通常に戻る兆しもある一方で、受注の低迷や顧客の戻りの悪さに遭遇している事業所は少なくない。特に、食品絡みの物流関連等で受注の落ち込みがある。また、飲食店関係ではコロナ禍の緊急資金で耐えてきたところが、返済が始まりバタバタと廃業に追い込まれている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている。今期公共工事は前年比15%増加している。ただし、前々年比では19%減少であり、全体的には厳しい。
雇用 関連 (北関東)	◎	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当市には観光で来る客が多いが、地元の商店街等を利用する観光客もかなり増えている。平日、祝日変わりなく各商店は繁盛しており、特に、外国人客が戻ってきたことが大きいと聞いている。
	◎	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・求人数が前年比1.5倍になっており、景気回復を顕著に感じている。特に、製造業と観光業が増加している。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月からの増減率が、3か月前と比べ連続して微増で推移している。
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・販売、小売関係、衣料品、食料品関係、スーパー等の求人は結構、活発さを見せている。ただし、購入側からみると、全般的に値上がりしているため、買い控えもある。購入する物を選択して最小限にとどめているのではないかと。建設関係では、解体や外装関係が非常に人手不足もありながらも、増えている。全般的にはやや厳しいのではないかと。
	□	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・人材募集の依頼は増えているものの、求職者の確保が追い付いていない状況が続いている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・7月の派遣採用数に変化はない。新型コロナウイルス感染症の影響は感じなくなっている。
	▲	*	*	*
	×	*	*	*